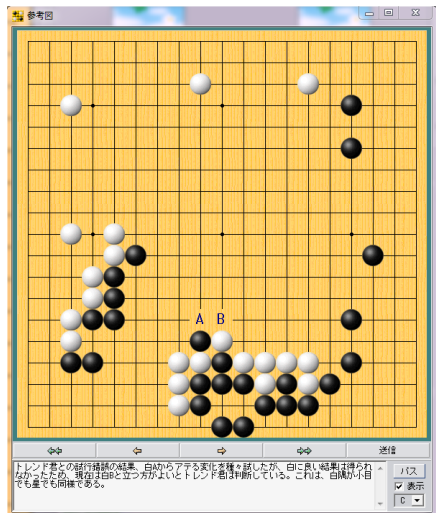


5. 代表的な進行 4（白隅が小目の場合）

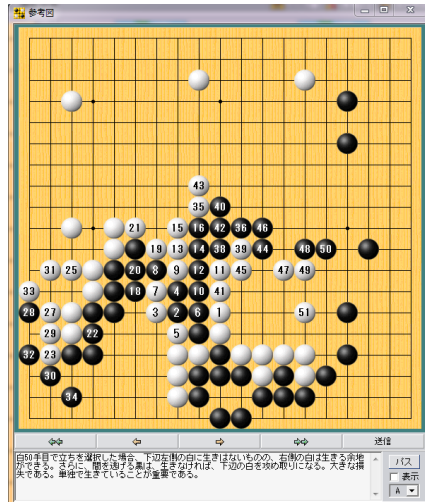
白隅が小目の場合でも、大枠は変わらない。白隅付近での黒の生き方の問題である。

【27 図】



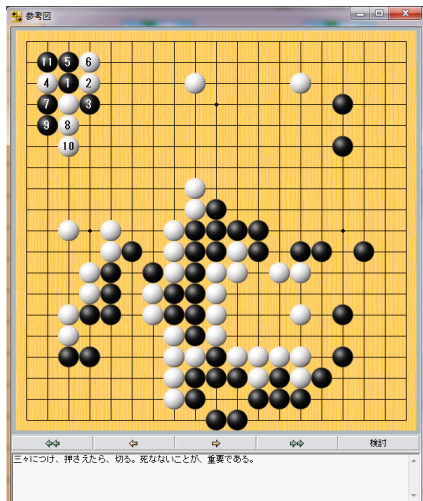
【27 図】トレンド君との試行錯誤の結果、白 A からアテる変化を種々試したが、白に良い結果は得られなかったため、現在は白 B と立つ方がよいとトレンド君は判断している。これは、白隅が小目でも星でも同様である。

【28 図】



【28 図】白 50 手目で立ちを選択した場合、下辺左側の白に生きはないものの、右側の白は生きる余地ができる。さらに、間を逃げる黒は、生きなければ、下辺の白を攻め取ることになる。大きな損失である。そのため、単独で生きていることが重要である。また、下辺右側を取りきっていないので、地合いの問題から、白隅ではできるだけ大きく生きる必要が生じる。

【29 図】



【29 図】白隅が小目の場合、上辺との間が広ければカカリもありうる。三々につけ切るの
が分かり易い。【30 図】隅をかかえてくれば、こんな形で生きる。これで、ほぼゲームセッ
トといえる。残りは、右上黒の切断であるが、白初手星の図で説明したものと同じである。

【30 図】

